

とよひら・りんく

豊平区を拠点に在宅医療連携を推進する「とよひら・りんく」(会長・五十嵐知文西岡病院副院長)は、合同会議を開催。社会医療法人恵和会の石川敏弘情報管理室長が改訂情報保護法のポイントや、個人情報管理する上での注意点などを説明した。写真。

石川室長は、漏えい原因の79・4%が管理ミス、紛失・置き忘れ、不正な持ち出しなど人的なもの指摘。今後も医療介護連携ICTシステムの活用など、電子媒体での情報共有が活

発化することが想定されることから、「コンピュータ・ウイルスなどのセキュリティと合わせて、ヒューマンエラー対策が必要」と強調した。

具体例として、▼離席する際はパソコンをログアウトまたはスクリーンロックをかける▼Eメールの一斉送信は、受信者のアドレスが表示されないBCCを利用する▼送り間違えをして



「情報漏えいによる社会的影響は計り知れない。セキュリティの手間を惜しまないで欲しい」と、日ごろからの危機管理を呼び掛けた。